

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	7.社会体育振興費				
項	6.保健体育費	細事業名	96.スポーツリーダーバンク活用事業費				
目	1.保健体育総務費	担当課・係	生涯スポーツ課	(執行課: 生涯スポーツ課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	132	要 求									132
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/スポーツシーンのあるまちづくり/指導者登録制度(スポーツリーダーバ						
	[スポーツリーダーバンクの推進に関する業務]	施策体系コード	03-06-01-40-20			事業番号	192-1		
	市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及及び発展を図るため	総事業費	773千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
	、平成14年4月に佐倉市スポーツリーダーバンクを設置しました	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
	。スポーツリーダーバンクとは、市に登録されたスポーツ指導者		181	181	181	97	133		
を地域のスポーツ団体や学校等へ派遣して、スポーツの指導にあたるシステムです。そのため、スポーツ指導者の登録・受付、派遣要望団体の受付・調整、さらには、スポーツ指導者の育成を行っています。	(事業実施に関する根拠法令) スポーツ振興法								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 地域において、気軽にスポーツの機会を提供し、市民の健康づくり・体力づくりに資するため、地域の求めに応じて、スポーツリーダーを派遣する。スポーツリーダーを派遣するための経費として、派遣費、保険料、研修費などを計上する。	(事業の目的) 第3次スポーツ振興基本計画に基づき、地域におけるスポーツの普及拡大を図るため、スポーツリーダーを派遣する。市民のスポーツ・健康志向の高まりとともに、派遣要望が増大しているため、スポーツリーダーバンク事業の拡充を図ろうとするもの。	(事業の効果) 地域におけるスポーツ人口が増加し、第3次スポーツ振興基本計画に定める目標(週に1回以上スポーツをする成人市民が50%以上となる)の達成に資する。
(事業実施上の問題点) スポーツリーダーバンク事業に関するより一層の周知啓発が求められている。	(前年度からの見直し点) 広報紙やインターネット等を用いた広報の拡充を図り、スポーツリーダーの登録及び地域へのリーダー派遣の拡充を図った。	(見積についての特記事項) 第3次佐倉市スポーツ振興基本計画に基づいた各種施策の取組もあり、スポーツリーダーの派遣については、市民需要が増大している。